（前面部分）

①にハンドピースコード先を接続します。

※差し込める方向が一定になっておりますので、ご注意ください。

②にバイポーラコード先端を接続します。

③に対極板のコード先端を接続します。

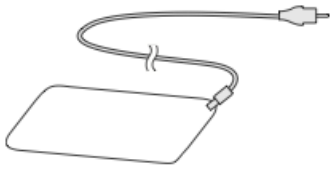
⑥の電源をONにすると内部点検を行い電源がつきます。

※対極板の設置位置に関して※

リユース対極板は服の下に設置するだけで使用可能

患部に近い位置に設置してください。

（例）顔面の処置をする際は肩口の下に設置



＜出力設定値を変更する場合＞

1.④もしくは⑤を押して出力を設定したいモードに合わせます。

2.⑦もしくは⑧の上下ボタンを押して出力設定を上下させます。

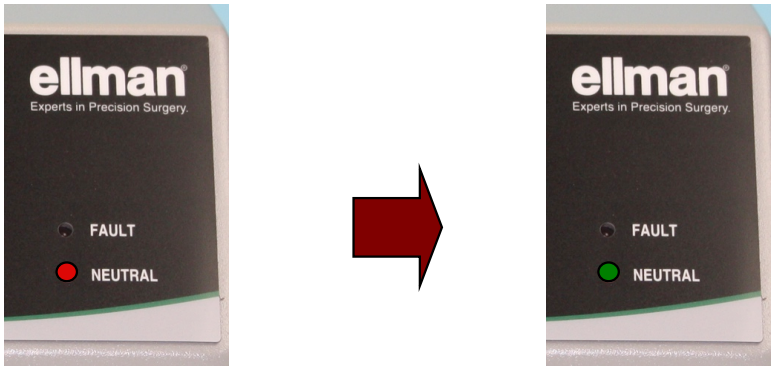
＜対極板監視装置＞

対極板監視装置を内蔵しており、対極板が正しく接続されていない場合や断線している場合「NEUTRAL」表示が赤色に代わり、警告音が鳴り続けます。

赤色時はモノポーラ出力が一切出来なくなります。

対極板が不要なバイポーラモードは出力可能ですが、警告音は消せません。

正しく接続されますと「NEUTRAL」ランプ表示が緑色に点灯します。



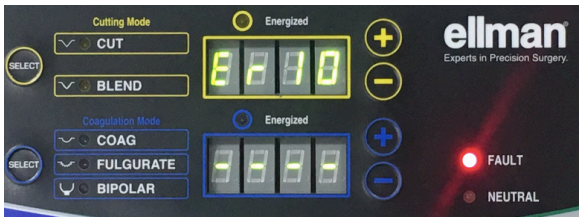
＜本体自動チェック機能について＞

電源投入時に自動的に本体に異常がないかチェックしています。もし、異常があれば警告音とともに「FAULT」ランプが点灯しエラー表記を出す仕様になっています。

エラーが出た際は一度電源を落としていただき、再度立ち上げ直していただくと復帰します。

再度エラーが出る際は本体内部故障の可能性が高いため修理をご依頼ください。

エラー表示例：Err：10 出力操作パネルを操作状態で電源を投入



代表的なエラー表示

Err：4　電源供給やエラーシステムが不安定になった際

Err：10　電源ON時に出力操作パネルを操作した際

Err：11　電源ON時に出力スイッチを操作した際

Err：13　正常に出力が出来ない状態になった際

Err：14　原因不明の異常が生じた際

※ Err13&14に関しては修理をご依頼ください。